

今月のよっしー

先日義理の両親のところで田植えを手伝いました。わずか3時間ほどでしたがとても勉強になりました。それから1ヶ月ほどして順調に成長している田んぼの様子を確認できてほっとしました。

話は変わりますが、志高く入学した学生が順調に育ち、医師として活躍できるように学習環境を整え、愛情を注ぎ、声をかけていくことを大学だけでなく県内の皆様と一緒にやっていくことが重要だと思っています。稲作は約半年ほどで成果が得られますが、、、医師養成はグッと我慢して粘り強くいきたいと思います。



教授 吉村 学

連載企画

臨床実習病院・診療所紹介 「海老原総合病院」

海老原総合病院 院長 米澤 勤 先生

当院は、高鍋インター近くにある許可病床数199床の病院ですが、医療資源不足のため現在は一般病床32、地域包括ケア病床28、療養病床113で診療を行っています。各科で一般の外来診療や手術、癌化学療法などを行っていますが、地域連携という面では、地元医師会からの紹介患者をはじめ、大学病院、県立病院、医師会病院などとの連携で、早期リハビリテーション症例（レスピレーター管理下症例なども含まれます）の受け入れを行っています。また、末期がん症例などのBSC（ベストサポータティブケア）も積極的に行っており、遠方でなかなか見舞いに行けない地元のご家族のお役に立っていると考えています。本来なら救急や災害医療にも力を入れたいところですが、冒頭に述べたようにマンパワー不足です。近い将来、若い皆さんの力強い応援があることを期待しています。



つのだより

～都農町の寄附講座「地域包括ケア・総合診療医学講座（通称：都農町まるごとケア講座）」からの定期的なお知らせ～

毎週水曜日、MRT宮崎放送で放送されている「つのぴよん」をご存知でしょうか。都農町の自然・食・特産品・イベント・人々を紹介している番組です。

今回は当講座の紹介をしていただくチャンスをいただき、桐ヶ谷先生、梶田先生、枝元先生と都農で実習中の医学科6年生も参加しての撮影が7月21日（火）に行われました。収録中は緊張されていたようですが、空いた時間には「つのぴよん」と記念撮影も！

放送日は8月5日水曜日 夕方6時55分から
ぜひご覧ください。



地域包括ケア実習、今クール無事終了しました。

医学科6年の地域包括ケア実習は6月8日（月）から7月2日（木）までの4週間、県内各地の医療機関等で実習をさせていただきました。延岡4名、日向入郷1名、児湯2名、都城・北諸1名、西諸2名、宮崎市2名、日南2名の14名が学ばせていただき、最終日の7月3日（金）はWebで振り返りを行いました。4週間の実習を1つの医療機関で受けていただいた学生Kさんの報告を簡単に報告します。

<Kさん>

- ・訪問診療…バイタルを取ったり体の診察、体調チェック、お看取りも参加させてもらえた。患者さんの生活を直に観察でき、コミュニケーションを取ることができた。
 - ・リハビリ実習…実際に患者さんのリハビリや器具操作を体験。自分も患者役で器具体験し、怖かった。
 - ・胃バリウム検査…最初から最後まで何度も体験、練習し、ある程度まで撮影できるようになった。
 - ・要介護認定調査・審査会…同席させていただき、医師の意見書やコメントなど理解することができた。
 - ・勉強会…院内勉強会へ参加。外来診療のない時間帯にわかりやすい講義を実施されており、勉強になった。
 - ・採血・ルート確保…何度も練習させていただき、優しく教えてもらい、だいぶ上達した。
 - ・尿道カテーテル・経鼻胃管交換…気管切開のチューブ交換もさせてもらった。コツを教えてもらった。
 - ・乳幼児健診…1歳半、3～4歳、9～10歳の健診。それぞれの年齢で重きを置いている点の違いを学んだ。
 - ・薬局見学…薬の取り扱いや調合方法、患者さんへの飲み間違いをしない仕組みなど学んだ。
 - ・講話…企業への出張講話に同行。企業への地域全体への健康向上の取り組みがあつて感心した。
 - ・マンモグラフィ体験…実際に挟んで体験した。痛かった。女性はすごいと感じた。
 - ・歓迎会…週2回は歓迎会をしてもらった。多職種で連携取っているかの深い話を聞くことができた。
- 【感じたこと】まだまだ知識不足。医者として将来働くことを見据えて勉強していきたい。多職種連携が取れることで患者さんにとってよりよい医療を提供できると感じた。地域の方々との関係が深く、病気を見ているのでなく、しっかり人を診ていると感じた。立派な医者になり宮崎に還元できるよう頑張りたい。

医学生へのご指導、本当にありがとうございます。県内各地でこのような深い学びを与えていただくことで、学生は地域医療や多職種連携について再考できます。そして、7月6日（月）からいよいよ今クール最後の実習が実施されていたところですが、新型コロナウイルスの感染拡大により最終週は実習中止となってしまいました。残念ではありましたが、今クールも無事終わられたのは実習を受け入れていただいている医療機関・関係機関の皆様のおかげです。心から感謝申し上げます。 ▶Web発表の様子



「宮崎県専門医プログラム合同説明会」に参加しました。

7月11日（土）にシーガイアコンベンションセンターで開催された説明会に当講座からは吉村教授、松田先生、梶田先生、枝元先生の4名で参加しました。この説明会は宮崎県内の専門医プログラム実施病院・診療科が集結し、宮崎県全体のプログラムについて県内外の研修医・医学生へ情報提供と個別相談の場として設けられたものです。

梶田先生が総合診療専門研修プログラムのプレゼンテーションを行い、その後、各ブースでの個別相談が行われました。総合診療科には多くの学生や研修医が相談に来てくれましたが、ALL MIYAZAKI総合診療専門医研修プログラムを安心して選択していただけるよう連携研修施設とも連携を取りながら準備を整えていきたいと考えています。ぜひ興味のある方、応募をお待ちしています。



▲梶田先生による発表の様子

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail : chiikiiry@med.miyazaki-u.ac.jp URL <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

